


耳の聞こえのセルフチェック

聴力は加齢によって40歳前後から弱まり始め、その変化は進行がゆっくりなため、自分では気づきにくいと言われています。

まずは、普段の生活から、ご自身・ご家族の聴力をチェックしてみましょう。

あてはまる項目にチェック☑してみましょう 



- 会話をしているときに聞き返す
- 後ろから呼びかけられると気づかないことがある
- 聞き間違いが多い
- 話し声が大きいと言われる
- 見えないところからの車の接近に気づかない
- 電子レンジなどの電子音が聞こえない
- 耳鳴りがある



チェック☑はいくつありましたか？

- 0個 現在の聞こえには問題なさそうです。
- 1～2個 実生活でお困りのことがあれば、
聴力検査を受けてみましょう。
- 3～4個 耳鼻咽喉科で相談してみましょう。
- 5個以上 早めに耳鼻咽喉科を受診することをお勧めします。

※一般社団法人日本補聴器販売店協会 HP 参照

難聴は、認知症発症の危険因子とも言われています。早期に受診し対応することで、家族や友人との会話がスムーズになったり、地域活動を楽しむことができるかもしれません。

聞こえにくいと感じたら、まずは耳鼻咽喉科を受診しましょう！

聴力検査により補聴器が有効であるか診断してもらうことができます。受診の結果、聴力の一定の基準に該当する場合は、聴覚の障害者手帳の交付を受け、補聴器購入費用の給付などのサービスを受けることができます。

問合せ先

- 聴力検査・耳鼻科受診、介護予防に関すること 高齢者支援課介護予防係 62-9724
- 身体障害者手帳の申請に関すること 健康福祉課障がい福祉係 62-9723